

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

桃陽病院の運営について

当院は、小児科、発達小児科を標榜し、慢性疾患にかかっている20歳未満の方に対し診療及び療養の指導を行うことを目的として、昭和57年に開設した病院です。

当院の主な役割

入院を通して、隣接の桃陽総合支援学校とともに診療及び療養指導並びに教育を一貫して実施することにより、次代を担う子供の自立心を養成し、健全な社会生活への復帰を図っています。

また、外来受診を行っており、地域における小児医療を担っています。



施設の利用状況（令和7年度）

- 年間 4,979 人（入院：3,475 人 外来：1,504 人）の方々にご利用いただきました。
（令和6年度 入院：5,939 人 外来：1,614 人）

運営に関する支出・収入（令和7年度の概数）

利用者1人あたりに換算すると、診療報酬等による年間の収入は約18,000円（総額約0.9億円）で、運営費は約72,000円（総額約3.6億円）です。病院を利用しない方を含めた、市民の皆様からの税金を活用し、運営しています。

<支出：72,000円（総額約3.6億円）>

運営・施設維持経費等 22,800円	人件費 49,200円
-----------------------	----------------

<収入：18,000円（総額約0.9億円）>

診療報酬等・その他 18,000円	差額 54,000円 市民の皆様の税金を活用
----------------------	---------------------------